

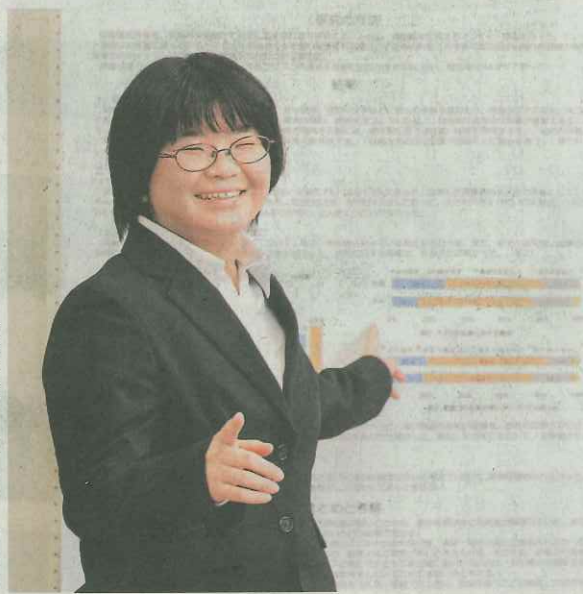


子ども生活学部では、3年生の秋学期から卒業研究に取り組んでいます。保育実習で、子どもたちが「ままごと遊び」の際、バーコードや電子マネーの支払いの動作をしている姿を見かけまし

## 宇都宮共和大子ども生活学部

# 心に寄り添う保育を研究

そこで私は、就学前の子どもたちが、どのようなお金の機能や役割を学び、お金をやりとりする力に付けるのか、保護者が家庭でどのようなサポートをしたところ、貨幣



卒業研究発表を行う末次さん

金銭教育を行っているのか、について興味を持ち、卒業研究のテーマとしました。幼稚園の協力を得て、年中児の保護者にアンケートをしたところ、貨幣

に種類があることは83%、紙幣に種類があることは半数の子どもが知っているものの、現金に触れていない子どもが2割いることが分かりました。

今の子どもたちは、現金を見る機会が減っています。そこで、それを補うために保育者としてなすべきことについて考察することになりました。

子ども生活学部は、このように子どものさまざまな生活体験をサポートするための学びが豊富です。子どもの心に寄り添い、子どもを中心に考えて保育に取り組めるよう、これからは実践の場で子どものあるべき生活を深く掘り下げて探究したいと思っています。

(子ども生活学部4年 末次友美)

# みやもつと

ま